

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスさんぼみち		年 月 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	活動内容等によって支障はあるが時間をずらしたり外へ出かけたりして工夫している	近々移転予定である
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		配置数は適切であるが活動内容や利用人数で送迎等に支障のないようスタッフを調整して配置している	子どもの状態や活動内容によって手が回らないことがあるので、十分なスタッフ確保に努める
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	施設が古い為、安全面に気をつけている	今後も安全面に配慮していく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃と消毒を徹底し清潔な状態を保つように心がけている	活動スペースがどうしても不足しているが移転先ではそれが少しは解消されるかと思われる
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもの希望やその日の状態に応じ必要とすれば個別の場所を作るように工夫している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定期的なミーティングや毎日の振り返りで情報共有等を行い支援の改善に努めている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価結果の共有を行い支援の改善に努めている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務の中で気になることや改善すべき点が出てきた際にはその都度意見交換を行い支援の確認や改善に努めている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	相談支援事業所や他事業所との交流で業務改善につなげている	外部評価は行ってないが今後必要に応じて実施を検討していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的にWEB研修や外部の研修に積極的に参加している	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		現在作成中、今年度中に公表予定
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者の意向やニーズ、子ども本人の希望を把握し、支援会議で検討した上で計画を作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画案をもとにスタッフ間で支援会議を行い課題を共通理解した上で計画作成を行っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個々の計画については共有し支援方法の確認と共通理解を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		アセスメントツールの活用でより良い行動分析や行動観察ができるよう取り入れていきたい
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		アセスメントをもとに本人や保護者のニーズに合わせた目標を設定し、又具体的にわかりやすい支援内容を設定するように努めている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎月意見を出し合い立案している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節の行事やイベント等を企画し、子どもたちの希望も聞き意欲的に参加できるような活動を取り入れるようにしている	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別と集団活動をバランス良く組み合わせ課題に応じた支援に努めている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に送迎時刻の確認や活動内容の確認をホワイトボードで確認できるようにしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援記録の共有	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		業務日誌の記録と共有	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年毎にモニタリングと学校や保護者との情報共有が必要に応じて計画を変更している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		子ども一人一人の計画に沿って発達段階や課題を把握した上で活動の組み合わせをおこなっている	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		複数の選択肢を設定したり、その子の思いを引き出すような声かけや関わりを持つように心がけている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		週報や月報をもらい行事等の確認は随時行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		担当者会議で情報共有をしたり個別で聞き取りも行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				現在対象児童利用なし
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		子ども食堂の利用や児童クラブと合同のイベントを行ったり地域行事に積極的に参加をしている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		定期的な会議や研修に参加	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡アプリや送迎時に日々の様子を伝えている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		今後ベアトレの重要性や必要性を情報発信していき研修の機会等を設けていきたい
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		相談員と連携しサービス計画を参考に保護者との面談を十分に行うようになっている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に相談事がないかこちらからの声かけもしながら必要に応じて面談をしている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		現在保護者会等は開催していないが必要に応じて保護者間の情報共有の場を設定していきたい
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	契約時に苦情に関する体制については案内し適切に対応できるように努めている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○	毎月活動予定表やお便りを配布したり、SNSでの情報発信を行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	個人情報に関する書類等は鍵付きの書庫に保管している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	特性に応じて絵カードやツールを使用し意思疎通を図っている。保護者に対しては情報を伝えるタイミングや伝え方に配慮している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域行事に参加したりボランティア清掃をおこなったりしている	地域の方々を招待はしたことがまだないので今後企画していきたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	定期的な研修やマニュアルの見直しマニュアル等は事業者内に掲示	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	毎月避難訓練等の実施と非常時に備えての防災グッズの定期確認	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○	契約時に母子手帳にて確認	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		現在対象児童利用なし
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	定期的な研修と定期的な安全確認を行っている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		周知が不十分なので今後改善していく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	報告書を作成し原因と予防策等を話し合い情報共有と共通理解を行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	定期的な研修とマニュアルの見直しを行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○		契約時や面談時に事前に説明していくように改善していきたい	